

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人共友会	代表者	岩尾 貢	法人・事業所の特徴	当ホームは古民家を改修した、懐かしい木の温もりを感じさせるとてもアットホームな事業所である。また、はしたての事業所がある「橋立町」は町民同士のつながりが強くご近所との付き合いもある所である。地域住民の方に事業所を理解していただく為にも地域の行事に参加している。登録利用者様に対しては関わりを大切にしながら信頼関係が築けるように常にスタッフが意識しながら関わっている。地域の中で暮らす1人暮らしや日中ご家族が留守の為、1人で過ごされている方に、お弁当を宅配しており、見守りを兼ねた支援をしている。
事業所名	小規模多機能ホームはしたて	管理者	山崎 麻子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	5人	0人	2人	1人	0人	4人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に出向いた際にはこちらからすすんで地域の方に挨拶をする。</li> <li>・事業所に来られた地域の方やお客様に対して失礼のないよう丁寧に対応出来る様に1人1人が心がける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に出向いた際に会った方には自分達の方から挨拶をするように心がけていた。</li> <li>・事業所に来られた方へ丁寧な関わりが出来ていた。よく足を運んで下さる方へ、すぐに帰ると分かっているからお茶を出すことを徹底してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくできている、殆ど出来ない等の項目は事業所に入ってきて間もない職員だから出来ないのか、それとも、元々出来ていないのかが分かりにくい。</li> <li>・改善計画を見ると良いことばかり書いてあるが、これだけのことをしようと思うと大変だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方にも事業所の活動を知って頂く為にも引き続き運営推進会議で写真の映像を流し、活動報告を行う。</li> <li>・出来ている点、出来ていない点の項目は経験年数や役職でもチェック内容が異なることもあるが、事業所全体として取り組みが不十分な個所は職員で検討しながら取り組みにつなげていく。</li> <li>・改善計画に準じて着実に実践できるように係を決めて計画を立て実行していく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個室のような場所が居室以外ないので、面会に来られた方が地域交流室で談話される際は、仕切りを活用して個室のような空間を設ける。</li> <li>・長寿会や子供会等とイベントを企画する際は日程調整など早めに調整し、地域の方も参加しやすい日取りにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流室にてつい立を使用していた時もあったが、面会に来られた方がつい立ての向こう側が気になり様子を見たがっている方もおられた。</li> <li>・個室が無くても良いのではないかと。プライベートな話等は隣の支援センターが空いていれば活用しても良い。</li> <li>・長寿会や子供達等のイベントの企画の際には双方と日程調整を行い参加しやすい日程調整に心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと交流できる場所があった方がよいのではないかと。交流室横の駐車スペースを工夫して開放できるようにしてみたらどうか。</li> <li>・用事があって来ても利用者の方がいると、あまり長居したらいけないような気になってくる。</li> <li>・事業所の前が自分の家があり、昼食時になると良い匂いがしてくる。特に嫌なおいなどは感じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場スペースの開放はすぐに実行は出来ないが、地域の方と交流が図れるような企画を考える。</li> <li>・地域の方やご家族の方が来られた際、交流室にてゆったりと過ごして頂けるように交流室に椅子やテレビ、ポット等を置いて工夫する。</li> </ul>

		<p>掛けた。子供会の会長さんと日程の確認を行い、調整はしたがクリスマス会での子供会の参加は無かった。</p>		
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな災害に備えて自分達がどのように行動に移したらよいかを地域の防災訓練に積極的に参加し知識・方法・動きなどを学ぶ。</li> <li>・地域に関わる情報や地域の取り組み、行事などを知る為にはして便りを読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練に利用者の方と参加して地域の方と一緒に取り組めた。地域の方や地域の特性が参加して学べる良い機会になった。</li> <li>・月1回発行の広報や橋立便りで加賀市や橋立町の情報を知りファイリングしいつでも読めるようにした。自分達の町でどのような活動が行われているか知る事が出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての職員が地域の方の顔を覚えているわけではないが、道で出会っても挨拶しない人もいる。</li> <li>・玄関横に橋立地区こころまちセンターの看板を上げているが道側から見えにくいので道から見える位置においてはどうか。相談したいと思っている人が見やすい位置に看板が設置してあった方が分かりやすくしていいのではないか。例えば、行事案内の掲示板の上などは見やすくして良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に出向いた際はスタッフの方から挨拶が進んで出来るように今後も心掛ける。</li> <li>・橋立地区こころまちセンターの看板の位置についてどの場所が見やすいのか検討していく。看板だけではなく地域に出向いた際に何かあれば橋立地区こころまちセンターに声をかけてもらうに伝えて行く。</li> <li>・行事などに地域の方やご家族の方が来られた際にはイベント終了後にアンケートを取り感想を聞く。改善点などがあれば意見を参考にし、今後の取り組みに活かせるように工夫する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活動しているサークルやサロンに出向き、顔見知りになることで身近な場所で相談が出来る関係性を作る。</li> <li>また、1人暮らしや空き家も多いので地域の方も心配している。地域の活動の場を通してサロンなどで休みがちな人の確認など地域の情報を得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのサークルやサロンに利用者の方と一緒に参加した際、地域の方から事業所の行事等を聞かれたりすることもあり地域の方に少しずつ顔を覚えて頂く事も出来た。</li> <li>・サロンやサークルを休みがちになっている方は名簿などで確認しランチに繋ぐ事が出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の方とよく地域の行事には参加できていると思う。例えばフェスタや北前船の祭りやお祭り、笑和の会など。逆に地域の中にどんな行事があればよいと思っているのか聞きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスタや北前船の祭り、各町の祭り等は利用者の方も楽しみにしているので体調に配慮しながら今後も一緒に参加する。</li> <li>・利用者の方には歌謡曲や踊りを見るのが好きな方が多いので地域で開催される催しものがあれば参加したい。はしたての広報を参考にしていく。</li> <li>・各町ごとに行われているサロンやサークルにも利用者の方と馴染みの関係をもつ方が来られているので利用者の方と一緒に今後も出向いていく。</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所で行なわれている行事などの取り組みを地域の方やご家族の方に知ってもらう為に、写真や映像を運営推進会議で流す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所での活動や行事などを写真で撮り、運営推進会議の中で活動内容を説明しながら見て頂いた。活動を紹介する事で事業所の様子や普段の利用者の方の生活を知って頂く事が出来た。会議の冒頭で写真を見て頂く事で会議の場がなごんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の心配な方の事例検討や地域での取り組みを一緒に取り組もうとしている姿勢が見られるが運営推進会議で出た意見などを取りこんでいるのか、活動につなげているのか、結果として出来ている物なのか分からないところもある。</li> <li>・運営推進会議で出た意見や改善した方がいい点などできているかどうかは分からないが、少しずつ改善につなげていけばいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、運営推進会議等で頂いた意見などは職員間で検討しながら活動実績を運営推進会議の場で報告する。</li> <li>・すぐに改善出来るもの、できないもの、時間をかけて検討していかなければならないものなども含めて前向きに取り組めるように計画を立てながら実施していく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自で津波などの災害を想定し、自分達の動きなどをシュミレーションする。(避難所の場所の確認、避難にかかる時間、移動手段、役割分担など)</li> <li>・大きな災害に備えて自分達がどのように行動に移したらよいかを地域の防災訓練に積極的に参加し知識・方法・動きなどを学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自で津波による災害を想定した模擬の災害訓練を時間を測定しながら行った。参加できなかった職員もいるので今後も色々な災害に備えた訓練を定期的に行っていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練にも参加できていてよかったと思う。自衛消防を絡めたり、企業などに一緒に防災訓練に参加してもらえるように依頼してみたらどうか。</li> <li>・北海道南西部沖地震、奥尻の地震はひどかった。普段から事業所でも災害を意識し続け想定した訓練を繰り返し行っていくことが大切なのではないか。災害によっては避難場所も決めておくとういのではないか。</li> <li>・火災時の警報機を設置してあるが音量が小さく気づいてもらえないのでは意味がないのではないか。音とランプの両方で緊急事態を知らせた方がいいのではないか。</li> <li>・事業所の防災訓練にもっと地域の人を参加させてもいいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、地区の防災訓練には参加し地域の方とスタッフが共に防災意識を共有できるようにまた、いざという時に行動に移せるように参加していく。</li> <li>・事業所で行われている防災訓練に近所の方にも声をかけ一緒に参加して頂けるようにする。</li> <li>・火災時の警報機について音量の設定を再度調整が可能か業者の方に依頼する。</li> <li>・事業所独自で行う災害を想定したシュミレーションを年4回実施していく。マニュアルに沿って実施するが年4回の災害訓練内容はその都度防火管理者がどのような設定にするか検討しながら行っていく。</li> </ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (17:20 ~21 :15 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	2人	11人

前回の改善計画	初期支援での対応では各々の対応がきちんと本人やご家族の思いに添えているのか不安な気持ちになってしまう。ご家族や本人とお話する事に緊張してしまい苦手意識を持ったままかかわってしまっているスタッフもいるので自己分析シートを活用して自分の苦手な所の傾向を知り、自己分析の過程において意識化することに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・エゴグラムのパターンを知り分析する事で以外に分らなかった自分自身の心を客観的に知る事が出来た。初期支援では本人、家族とも緊張していると思うので、不安にならない様に関わる事が大切だと分かった。また、送迎時等に家族の方にお会いした際はこちらから体調や気になる事が無いのか気にかける様にしていった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	8	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	11	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9	2	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎日必ず行っているミーティングや、スタッフ会議の場を通して利用者の方の情報をスタッフ間で共有している。また、本人の生活歴や嗜好など本人やご家族の方の話を傾聴しながら丁寧な関わりを心掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・初期支援では家族の介護負担が大きく、家族のニーズを把握することは出来ても、本人の不安なことや困りごと、希望の把握が難しい事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・本人の思いは日々の関わりの中から把握していく。関わりを通して本人の話した言葉や思いを日々の記録に記入し、蛍光ペンでラインを引き情報を見やすくするとともに、センター方式B-2、B-3を活用しながらその人らしい生活を理解し、一人ひとりの個性や習慣を大切にされた関わりを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (17:20 ~ 21 :15 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	1人	1人	11人

前回の改善計画

本人の言葉だけではなく、表情やしぐさなどからも本人の思いが引き出せるように、かかわりを大切にする。地域を巻き込んだ実践に至っていない方もおられるので軒下マップの作成を継続し全体的に増やせるようにかかわってシートに落とししていく。軒下マップが手軽にすぐ書き足せるようにカンファレンス時には必ず準備して話し合う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・軒下マップを活用しながら、本人が住んでいる地域のサロンやサークル、お寺の月参り等に利用者の方と一緒に行き、本人と地域の関係性を切らない様に支援する事が出来た。また、カンファレンス時には軒下マップを必ず準備し、関わりの中から知りえた本人を取り巻く社会資源の情報をスタッフ間で共有する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	10	0	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	9	0	1	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	3	1	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	3	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・本人の「～したい」の実現に向けてスタッフ間だけで取り組まず、本人に関わる周囲の方 (家族、友人) 等を巻き込んで支援する事が出来た。また、送迎時などで家族と会う機会があれば本人の思いについて話し合う機会を作った。  
・プランの立案は担当制にしているが、プランの実行についてはスタッフが協力し合いながら実行する事が出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・利用者の方の「～したい」を把握できていても、プランの具体化が十分でない方はすぐに実行に移せない方もいた。  
・実行しても関わった内容や振り返りを全スタッフで共有し次の対応に活かせていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

・カンファレンスではなるべく具体的な支援を立てるとともに、本人の思いを傾聴しながら、なるべく実行可能な支援を考える。  
また、実行した内容についてはミーティングで申し送り、全スタッフが情報を共有できるようにし、カンファレンスではスタッフで振り返りを行い、次の対応に活かせる話し合いを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (17:20 ~21 :15 )

3. 日常生活の支援

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	1人	11人

前回の改善計画	本人の暮らしを継続する為にも「現在」を知っておくことも必要だが、本人が自分らしい暮らしをしていた時期の「以前の暮らし」を知っておくことも本人のこれまでの暮らしを継続する為に必要な為、理解を深める為にもプラン②をモニタリング時に振り返り、センター方式を書く習慣を見につけ意識しながら分かる範囲で埋めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・カンファレンス時にはセンター方式を準備し、スタッフの発言から知りえた情報、変化があれば記入する事が出来た。プラン②のモニタリングは月1回行ってはいるが担当者割にしている為、ケアマネ以外は全利用のプラン②を意識して振り返る事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	6	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	11	1	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	4	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・本人の体調の変化や心情的な変化等があった場合は、その日のリーダーに伝えスタッフに周知し、適切な支援が出来るようミーティングにて話し合いができた。 ・本人の体調に合わせた食事の内容を検討し工夫しながら本人の体調に合わせた支援が出来た。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・以前の暮らしを知ってはいるが、その方の生きてきた過程や時代背景等、深く掘り下げて聴く事が出来ていなかった。 また、はっきりと自分の思いを声に出して伝えられない方の思いをあいまいにしている時もあった。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・送迎時や、訪問時等を利用して本人や家族の方からゆっくりと話を傾聴する。また、サロンやサークル等に行った際、地域の方と本人を交えて話をする機会を作るようにし、以前の暮らしの把握に努める。そこで知りえた情報はセンター方式や日々の記録にも記載する。
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (17:20 ~21 :15 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	1人	11人

前回の改善計画
事業所が直接接していない時間の本人の過ごし方をご家族や本人にお聞きしたり、本人にとって身近な世話役さんの存在をご家族の方や本人、地域の方にお会いした際になにげない会話からお聞きしたりして軒下マップに記載し、今までの馴染みのある関係性の継続に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用していない日の過ごし方を本人や家族の方から聞いているが、記録に残せていない時もありスタッフ間での情報の共有のズレがあった。(軒下マップやセンター方式への記入)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	1	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	9	1	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	5	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	5	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・軒下マップから本人との関係性が切れかかっていた場所へ顔を出す事で本人の活躍する場が出来た。以前お付き合いしていた地域の方ともまた関係性を持つ事が出来た。 ・またサロンやサークルと一緒にいく事で地域の方との関係性を知る事ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所のある圏域の民生委員や社会資源を把握できていても、他の圏域から来られている方の民生委員の方と関わる機会が無く、把握するまでに至っていなかった。また、本人の今の暮らしに必要な地域の社会資源をうまく活用できているか分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人がこれまでに関わってきた方や地域での役割など本人やご家族の方から話を聞き、引き続き軒下マップに記入しながら1人1人の地域資源の把握に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 7 日 (18:30 ~21 :00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	5人	1人	11人

前回の改善計画	利用者の住み慣れた地域で今までの馴染みのある関係性を切らずに継続していく中で、住民主体の支え合いの体制作りにはどのようなものがあるか把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・各町で行われているサロンやサークルには利用者の方と地域との関係性を継続していけるように月1回は通う事が出来た。住民主体の体制作りにはどのようなものがあるか、意識して調べたりできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	3	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	2	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	9	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の方の住んでいる町のサロンやサークルと一緒に出かけ、利用者や地域の方とお付き合いを継続する事が出来た。また、行事などを通して、地域の方へ声掛けをし、事業所に遊びに来てもらう事が出来たり、月1回の月参りなどにも参加していただけた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族の意見や要望が強く、利用者視点での発言が出来ていない事もあり、本人の思いに寄り添った支援が出来ていない。また、外出したいとその日に利用者からの希望があっても、事業所の都合で外出できたり出来なかったりすることもあり、業務優先になっている事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・外出できない場合でも、少し送迎を早めてドライブに行く等、気分転換を図ってもらうように工夫する。 ・家族の意見も尊重しながら本人の思いに寄り添った支援が出来るように双方の思いを傾聴、必要なサービスの提供につなげる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 7 日 (18:30 ~21 :00 )

6. 連携・協働

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	6人	2人	11人

前回の改善計画	子供会の年間スケジュールを予め、子供会の会長さんから頂き、行事等に参加していただけるように企画し、他世代の方や、子供の親御さんの方にも事業所に遊びに来てもらえる様にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・子供会の会長さんから予め年間スケジュールをいただく事は出来たが、行事日程が重なってしまう事もあった。周知の仕方や企画の内容に興味を持ってもらえず、子供の親御さんに来て頂く事が難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	4	6	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	9	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	5	2	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	6	0	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サロンやサークルに顔を出し、地域の長寿会の方や地域の方に顔を覚えてもらう事が出来た。また、事業所内で行われている月 1 回の行事や月参り等に来てもらう事が出来た。 ・老人会の懇親会に参加し、長寿会の方との交流を図ったり、町内の防災訓練に参加し、一緒に訓練に取り組む事が出来た。 ・配食サービスを利用している方のサービス担当者会議等に参加し、他事業所の職種の方と連携が図れた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・管理者やケアマネが各サービス機関との調整や会議に出席しているので、その他のスタッフが参加する事が殆ど無かった。 ・町内会の活動やイベントに参加する機会があっても、家庭の事情等で自主的に参加する事が難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・管理者やケアマネと一緒に会議などに参加する機会を作る。 ・家庭の事情も考慮しながら、町の活動や行事に参加するように日程調整を行う。また、町内活動にはどのような活動があるか区長さんや民生委員さん、町づくりの方から聞き、一緒に活動してもいいものがあれば参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 7 日 (18:30 ~ 21 :00 )

7. 運営

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	0人	2人	11人

前回の改善計画  
月1回行われているスタッフ会議にて運営推進会議で出た意見を議題として取り上げスタッフに周知する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・運営推進会議で出た意見や内容についてはスタッフ会議の場を通してスタッフに周知する事が出来ていた。運営推進会議の議事録を作成し、ファイリング出来たものは各自確認するように周知できていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	6	2	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	0	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	0	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	5	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・家族の方からの苦情やアドバイスを受けた際は、真摯に受け止め、すぐにスタッフに伝え、同じことの繰り返しにならない様にスタッフ間で情報を共有し、今後の対応や改善策を話し合う事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・地域との共同した取組みにどのようなものがあるのか把握しておらず、取組みに至っていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・地域と共同した取組みにはどのようなものがあるか運営推進会議などで地域の方から情報を集め、事業所として地域の方と関わりを持つ機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 7 日 (18:30 ~21 :00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	0人	4人	11人

前回の改善計画	<p>職場内での勉強会には勤務外のスタッフはなるべく出席し、自己のスキルアップ、しいては事業所全体のサービスの質の向上の為に参加してもらう声かけをして行く。 職場外の研修に参加したスタッフはスタッフ会議の場で伝達講習を行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・職場内での研修があればスタッフに伝達できていた。また、出席できなかったスタッフは参加したスタッフから伝達してもらい、また資料を読む等し学習出来ていた。 ・職場外での研修に参加したスタッフにはスタッフ会議で伝達講習を行っていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	5	0	5	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	2	5	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	2	9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	1	2	12

できている点	<p>200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>・ヒヤリハット・アクシデント報告があればその日のミーティングで伝え、対応策を検討し再発防止に取り組んでいる。スタッフ会議でヒヤリハット、アクシデント報告の振り返りを行い、スタッフ間で事故の内容や対応策などを再確認出来ていた。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	<p>200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>・地域連絡会には管理者以外参加する事が無かった。 ・スキルアップの為に研修案内の声を管理者からかけてもらったが、家庭の事情や業務が終了した後の時間帯、土日の研修だと中々参加する事が難しかった。</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・家庭の事情も考慮しながら積極的に研修に参加してもらえるようにする。 ・研修案内があれば、職員が必ず確認するファイルに綴じ、研修の内容にも興味を持ってもらえるように工夫する。また、受けてみたい研修や興味のある研修には積極的に申し出る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 7 日 (18:30 ~ 21 :00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 山崎・畑・岸和田・元谷・油谷・寺西・木田・津田・井村・武・辻・小谷・上出

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	0人	1人	11人

前回の改善計画	ミーティング、申し送りの際は声のトーンが大きくなってしまいがちなので声のトーンを下げてプライバシーを守る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・プライバシーを守る為、ミーティングや申し送り時は氏名を伏せながら分かりやすい様に伝達した。また、ミーティング時は声が大きくなりがちなので集まる場所を広く取らない様に配慮した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	6	6	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	1	9	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	6	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束や虐待は一切行われていない。人権やプライバシーに関してはスタッフ間で意識の統一が図られている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・利用者から呼びかけられずに対応できない場合に「ちょっと待ってください」と言ってしまう事があり、利用者の方を待たせてしまう事がある。 ・利用者との会話の中で無意識にスピーチロックをしている事があり、何度も同じことを言われる方の対応で丁寧な言葉かけを使っていない時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・何度も同じことを話される方の気持ちを理解しながら、利用者の立場に立って、不安にならないような声かけや関わりを持つように意識する。 利用者の方に対する言葉かけや対応で、おかしいと思った事はスタッフ同士がその場で指摘し合える関係性を普段から作る。

